

自己評価チェックリスト（保育士）

A:理解して十分に取り組んでいる B:概ね取り組んでいる
C:理解が不足し十分に取り組んでいない D：取り組めていない

馬橋保育園 令和5年度

		A	B	C	D
総則	入園している子どもの最善の利益を考慮して保育にあたっていますか	73%	18%	0%	0%
	全体的な計画に基づき、保育目標を定め保育を行っていますか	55%	45%	0%	0%
	子ども一人一人の人権を尊重し、愛情をもって保育にあたっていますか	91%	9%	0%	0%
	自らの人間性や専門性の向上につとめ豊かな感性を磨く努力をしていますか	36%	55%	9%	0%
保育理念・目標	園の保育方針を理解している。	91%	9%	0%	0%
	園の保育方針や目標に基づいて、クラスの年間保育目標を立てている。	82%	18%	0%	0%
	グループの担当間で話し合って、保育目標を立てている。	55%	45%	0%	0%
	自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	45%	45%	9%	0%
保育の内容	保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう配慮している。	45%	55%	0%	0%
	子どもの発達歴や心身の発達などを考慮する関わりが出来ている。	36%	64%	0%	0%
	着替えを援助する時は、無理やり脱がしたり着せたりしていない。	91%	9%	0%	0%
	子どものやる気を見守りながら、できない部分を援助している。	82%	18%	0%	0%
	生活や遊びの中で、子ども自身が選択できるような問いかけをしている。	73%	27%	0%	0%
	子どもひとりひとりの思いに耳を傾け否定せず、受け止められいる。	45%	55%	0%	0%
	子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	55%	36%	9%	0%
	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている。	45%	45%	9%	0%
養護に関するねらいと内容	登園時の子どもの健康観察を行っていますか。	82%	18%	0%	0%
	登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまう事がないようにしていますか。	100%	0%	0%	0%
	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか	91%	9%	0%	0%
	温かい受容的な雰囲気や関わりが子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して保育をしていますか。	73%	27%	0%	0%
	「だめ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようしていますか	55%	45%	0%	0%
	子どもが活動しやすいように、その都度、室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか	45%	55%	0%	0%
	園庭や散歩など戸外で遊ぶ機会を目的を持って取り入れていますか	45%	55%	0%	0%
	保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか	45%	55%	0%	0%
	年齢に応じて食事の前や排せつ後の手洗い等、清潔の習慣が身につくよう援助していますか	73%	27%	0%	0%
	子どもの食事の様子を把握し、無理のない援助ができていますか	82%	18%	0%	0%
	子どもが見通しをもって意欲的に行動できるようにするとともに、快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか	55%	45%	0%	0%

教育に関するねらいと内容	危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃からしていきますか	73%	27%	0%	0%
	つまづきや葛藤、けんかななどを子どもの発達に欠かせないものとしてとらえ、対応していますか	73%	27%	0%	0%
	困っている友だちのことを心配するなど思いやりを持てるよう援助していますか	73%	27%	0%	0%
	なかなか寝付けられない子どもを部屋からだしたり、布団を部屋の隅に敷なおしたりしていませんか。	64%	27%	9%	0%
	保育士は子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、すべての言動が子どもにとって見本になっていることを常に意識していますか	45%	45%	9%	0%
	子ども同士が力を合わせて取り組む姿や協力して遊びを発展させていく姿を十分に認め、集団意欲を高められる仲立ちができていますか	27%	55%	18%	0%
	子どもが思ったことを相手に伝えたり、相手の思いにも気づけるような保育（関わり）をしていますか	73%	18%	9%	0%
	身近な自然に触れどうしてという疑問に対して美しさや不思議さに気づけるよう配慮し『なぜ?』という疑問に対して一緒に考えたり調べたりしていますか	36%	64%	0%	0%
	毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近などの位置の違いや時刻などに関心がもてるような関わりをしていますか	27%	64%	0%	9%
	信頼できる相手に伝えたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもと関わられていますか	73%	27%	0%	0%
	子どもの表情や姿をよく観察し、その場に応じた言葉がけをしていますか	55%	45%	0%	0%
	子どもがわからないことを訪ねたり、楽しい経験を伝えるなど安心して話せる雰囲気を作っていますか	82%	18%	0%	0%
	ありがとう、ごめんなさいなど生活に必要な言葉を使えるように保育していますか	91%	9%	0%	0%
	様々な色・形・手触りに気づき、感触の違いを感じる機会を作っていますか	36%	64%	0%	0%
	糊・ハサミなどいろいろな道具の使い方を一人ひとり丁寧に伝えたり見守ったりしていますか	36%	64%	0%	0%
	一人ひとりの園での様子など、職員間で連携をとり、職員全体で見守る体制ができていますか	45%	45%	9%	0%
保育の計画及び評価	全体的な計画は、園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、教育・保育の「ねらい」「内容」が総合的に展開されるよう編成されていますか	55%	36%	9%	0%
	子どもの発達過程を理解して、人間形成の基礎を養う時期であることを十分に認識して作成していますか	64%	36%	0%	0%
	一人一人の子どもの発達過程や状況、クラスの実態について、職員の共通認識の基に作成していますか	55%	36%	9%	0%
	記録を踏まえて、指導計画に基づく教育・保育を見直し、改善を図っていますか	55%	36%	9%	0%
	その日あった出来事や気になる子どもの様子などを、他の職員と共有することができていますか	82%	18%	0%	0%
	指導計画（年間・月・週）が実際の子どもの姿・心情・意欲・態度に合っているか自己の保育を振り返り、反省評価をしていますか	45%	45%	9%	0%
	指導計画の反省評価は、次の指導計画（年間・月・週）作成に反映できるものとなっていますか	55%	45%	0%	0%
健康と安全	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人ひとりの保育に活かしていますか	73%	27%	0%	0%
	子どもが危険な場所・危険な遊びがわかり、安全に気を付けて行動出来るように伝えられていますか	73%	27%	0%	0%
	トイレに行くことをせかしたり、強要したりせずに一人ひとりの排せつの欲求に合わせるようにしていますか	82%	18%	0%	0%
	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるよう雰囲気づくり配膳・下膳の手伝いなど食事に興味をもてる工夫をしていますか	55%	45%	0%	0%
	子どもたちが、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心掛けていますか	55%	45%	0%	0%
	誤飲・誤嚥に繋がることのないよう、職員同士連携を図り見直すことができていますか	64%	27%	9%	0%

食育	給食を楽しんで食べる事ができる工夫をしていますか	64%	36%	0%	0%
	子どもの食生活が充実するよう保育士と栄養士とで連携して食育活動をすすめていますか	36%	55%	9%	0%
	食育活動と保育内容は連動され、適切に実施されていますか	27%	73%	0%	0%
	食物アレルギーの子どもに対し、個別配慮が適切にされていますか	91%	9%	0%	0%
保護者に対する支援	ひとりひとりの食事量に配慮し、無理強いくことなく安心して食事が摂れる環境になっていますか	73%	27%	0%	0%
	送迎の際に保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか	82%	18%	0%	0%
	一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか	27%	45%	9%	9%
	家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの書き方をしていますか	45%	55%	0%	0%
	保護者が子育ての悩みや心配事などを安心して話せる存在になるよう心掛けていますか	55%	45%	0%	0%
	あなたの保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求を受け止めようと努力していますか	64%	36%	0%	0%
職員の連携資質向上	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで園全体で受け止めようとしていますか	91%	9%	0%	0%
	職員会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか	73%	27%	0%	0%
	園の内外における研修・研究活動及び自己研鑽により専門性を高める努力をしていますか	55%	36%	9%	0%
	職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか	64%	36%	0%	0%
	自分の保育を振り返り、課題や問題点を見つけるとともに、その中で生じた疑問や悩みを上司や同僚に相談することができますか	45%	55%	0%	0%
（適切な保育のために） 保育士の責務	一人ひとりの子どもの活動や姿をしっかりと記録に留めることができますか	55%	36%	9%	0%
	毎日笑顔で子どもや保護者、同僚に接するよう心掛けていますか	82%	18%	0%	0%
	子どもとよく遊び一緒に楽しんでいますか	82%	18%	0%	0%
	子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜まず、保育に取り入れていますか	27%	64%	9%	0%
	子どもの自発性や発想を大切にし、子どもが主体的に活動できるよう適切な援助・環境構成を心掛けていますか	36%	64%	0%	0%
	子どものこと、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜園長や主任に報告連絡相談をしていますか	64%	36%	0%	0%
	子どもの名前を呼び捨てにするのではなく、〇〇さん〇〇ちゃんなど丁寧な呼び方をしていますか	64%	36%	0%	0%
	子どもの個人情報を適切に扱うとともに、園内で知りえた事柄や情報に対して守秘義務を遵守していますか	91%	9%	0%	0%
	子どもの発達や成長に関する記録や帳簿類は適切に記載し、保管されていますか	91%	9%	0%	0%
	子どものひとりひとりの人権を尊重した関わりをしていますか	82%	18%	0%	0%
	物事を強要するような関わり・脅迫的な言葉がけはせず、子どもを気持ちに寄り添った保育がされていますか	55%	45%	0%	0%
	子どもひとりひとりの育ちや家庭環境へ配慮した関わりができていますか	64%	27%	9%	0%
	特別なニーズ（外国籍・経済的困窮・養育困難等）を有する家庭への支援について職員間で情報共有し配慮していますか	91%	9%	0%	0%
振り返り：（自己評価を通し今後の今年度の気づきや課題を記入） 適切な保育を実践していくために職員の気づきを、言い合える関係性を構築していくことを大きな課題とし、実践に繋げていった。					